



International Left-Handers Day：授業アイデア（簡単 版）

国際左利きの日をテーマにした英語の授業アイデア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 反対の手で1日体験

中学・20分

🌀 利き手でない手で作業し、感じたことを英語で表現する。

1. 利き手でない手で、名前を書く・線を切る・消しゴムで消すを試す。
2. It was hard to ... / I felt ... の形で感想を英語で書く。
3. ペアで発表し合い、左利きの人の不便さについて話し合う。

2. 左右の言葉ハンター

大学・45分

🌀 英語・日本語・他言語の「左・右」を表す言葉から、文化の見方を考える。

1. sinister / dexterity / gauche / right（正しい）などの語源を調べる。
2. 日本語の「右に出る者はいない」「左遷」「ぎっちょ」「左党」などと比べる。
3. 言葉に残る左右のイメージが、左利きへの見方にどう影響したかを英語で議論する。
4. 300語の英語レポートにまとめる。



1. 反対の手で1日体験

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

利き手でない手で作業した体験を、It was hard to ... / I felt ... を使って英語で表現できる。左利きの人の不便さに気づき、短く意見を言える。

準備

- 1人1枚の作業用紙（名前を書く欄・切りとり線・消しゴムで消す鉛筆の線）
- はさみ（ふつうのはさみ。あれば左利き用も1本）
- 感想カード（It was hard to ... / It was easy to ... / I felt ... の型）
- 記事の会話（Jack と Hana）の音声：このサイトの英語ページ

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	8月13日が International Left-Handers Day であることを伝える。英語ページの会話を聞かせ、Jack がはさみで困っている理由を確認する。本文の第1段落にならい「左手ではさみを持ってまっすぐ切ってみて」と投げかける。	会話を聞き、Jack が困っている理由（はさみが右手用）をつかむ。	"August 13 is International Left-Handers Day." "Listen. Why is Jack having trouble?" "Yes. The scissors don't work for him. He is left-handed." "Are you left-handed or right-handed?"
展開1	7	利き手でない手で、①名前を書く ②線にそって紙を切る ③消しゴムで線を消す、の3つを順に試させる。1つごとに Was it easy or hard? と聞き、手を上げさせる。左利きの生徒には、右手でやってみよう伝える。	利き手でない手で3つの作業をし、やりやすかったかを手で答える。	"Use your other hand." "First, write your name." "Next, cut along the line. Then erase the pencil line." "Was it easy or hard? Raise your hand."
展開2	6	感想カードに It was hard to ... / I felt ... の形で2〜3文書かせる。書けたらペアで読み合い、相手の感想に Me too. / Really? と反応させる。	体験の感想を英語で2〜3文書き、ペアで発表し合う。	"Write your feelings in English." "It was hard to cut a straight line." "I felt slow. I felt nervous." "Share with your partner. Say, Me too! or Really?"
まとめ	4	本文にある「机・はさみ・台所の道具は右手用に作られていることが多い」を紹介し、左利きの人が毎日こうした不便を感じていることを確かめる。教室の中で左利きの人が困りそうな物を英語で1つずつ挙げさせて終わる。	左利きの人が困りそうな物を考え、英語で言う。	"Many tools are made for the right hand." "Left-handed people feel this every day." "Look around the classroom. What is hard for left-handers?"

板書例

International Left-Handers Day (August 13)

利き手でない手で

① write my name ② cut a line ③ erase a line

It was hard to ____.

It was easy to ____.

I felt ____ . (slow / nervous / tired)

Many tools are made for the right hand.

→ desks, scissors, kitchen tools

評価のポイント

- It was hard to ... / I felt ... を使って、自分の体験を2〜3文で書けたか。
- ペアの感想を聞き、反応を返せたか。
- 左利きの人の不便さを、教室の物を例に考えられたか。

つまづきへの手だて

- はさみ作業はけがに注意し、ゆっくり切るよう最初に伝える。
- 書けない生徒には、板書の型から1つ選んで ... に動詞を入れるだけにする。
- 利き手の話は個人のことで、左利きの生徒を名ざしで前に出さない。

発展

- To help left-handed people, I think we should ... の文を書く。
- 本文の southpaw（左投げの投手）を紹介し、スポーツで左利きがある利な例を英語で読む。
- 基本セット p.3 の穴埋め（Mika と左利き用のはさみの話）を読む。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング・穴埋め）
- 基本セット p.8（なぞり書き）
- このサイトの英語ページの音声（会話）



2. 左右の言葉ハンター

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____

No. _____

Name _____

ねらい

英語・日本語・他言語の「左・右」を表す言葉の語源と意味を調べ、言葉に残る左右のイメージが左利きへの見方にどう影響したかを英語で議論し、300語のレポートの構成を立てられる。

準備

- 基本セット p.1（読解）：本文第3段落（sinister は Latin で left を意味した、George VI、1932年 2.1 percent → 1972年 11 percent 超）
- 調べ学習用の語のリスト：sinister / dexterity / gauche / right（正しい）／右に出る者はいない・左遷・ぎゅちょ・左党
- 辞書・語源辞典、またはオンラインの語源辞典が使える端末
- 議論用のワークシート（語・もとの意味・今の意味・左右のイメージ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	sinister の意味を問い、Latin ではただ left を意味したという本文の事実を示す。基本セット p.1 の本文第3段落を音声で聞かせ、左手で書く子どもが右手に直された歴史と、1932年から1972年への数字の変化を確かめる。	sinister の意味を予想する。本文を聞いて、左利きの子が右手に直された歴史と数字の変化をつかむ。	"What does sinister mean in English?" "Evil. But in Latin, it simply meant left." "Listen to paragraph three. What happened to left-handed children?" "In 1932, only 2.1 percent of Americans wrote with their left hand. By 1972, it was over 11 percent. Why?"
展開1	15	4人班で語のリストを分担し、辞書・語源辞典で「もとの意味」「今の意味」「左右どちらによいイメージがあるか」を調べてワークシートにまとめさせる。英語の語は英語の語源辞典、日本語の語は国語辞典で調べさせ、出典をメモさせる。「ぎゅちょ」は地域によっては差別的に聞こえる語で放送では使わないとされている、と先に伝えておく。	担当の語を辞書で調べ、もとの意味・今の意味・左右のイメージをまとめる。出典をメモする。	"Each member takes two words." "Find the original meaning and the meaning today." "Does the word make left or right look good?" "Write down your source."
展開2	15	班で調べた結果を共有し、Do words shape how we see left-handed people? について英語で議論させる。Yes 側・No 側の理由をそれぞれ2つ以上出させ、本文の歴史（右手に直された子どもたち、学校が直すのをやめて数字が増えたこと）を根拠に使うよう促す。	調べた語を共有し、言葉が左利きへの見方に影響したかを英語で議論する。	"Share your findings in your group." "Discuss: Do words shape how we see left-handed people?" "Give reasons for yes and for no." "Use examples from the text and your research."
まとめ	10	各班1人が1分で議論の要点を報告する。そのあと、300語の英語レポートの構成（導入・語の例2〜3つ・歴史とのつながり・自分の考え）を板書で示し、各自の主張文（thesis）を1文書かせて提出させる。レポート本体は課題とする。	議論の要点を報告する。レポートの主張文を1文書く。	"One person from each group, report in one minute." "Your report is 300 words." "Start with one clear thesis sentence." "Today, write your thesis. Finish the report at home."

板書例

Left and Right in Words

sinister : Latin = left → English = evil
dexterity ← Latin dexter (right)
gauche : French = left / clumsy
right : 右 + 正しい
右に出る者はいない／左遷／ぎゅちょ（注意）／左党

History

1932 : 2.1 percent wrote with the left hand
1972 : over 11 percent (schools stopped changing children)

Q: Do words shape how we see left-handed people?

Report (300 words)

Intro → 2-3 word examples → history → my opinion

評価のポイント

- 調べた語のもとの意味と今の意味を、出典をつけて正しくまとめられたか。
- 議論で、語の例と本文の歴史を根拠にして英語で意見を言えたか。
- レポートの主張文が、問いに対してははっきり立場を示しているか。

つまづきへの手だて

- 語源辞典に慣れていない学生には、調べ方（語源欄の見方）を最初に1語だけ全体で示す。
- 英語の議論が止まる班には、I think ... because ... / One example is ... の型を示す。
- 利き手の話は個人のことなので、学生に利き手を言わせることは強制しない。

発展

- 他の言語（学生が学んでいる第二外国語など）の「左・右」も調べて比べる。
- 本文第4段落（fencing、southpaw）を読み、左利きが有利になる場面と比べる。
- 道具のデザイン（はさみ・机・包丁）について、ユニバーサルデザインの視点で提案を英語で書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.2（4択・True / False）
- このサイトの英語ページの音声